

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-139	12-137	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Is beer consumption related to measures of abdominal and general obesity? A systematic review and meta-analysis. ビール摂取と腹部肥満及び全身性肥満は関連するのか? 系統的レビューとメタアナリシス		
<b>執筆者</b>		
Bendsen NT, Christensen R, Bartels EM, Kok FJ, Sierksma A, Raben A, Astrup A		
<b>掲載誌</b>		
Nutr Rev. 2013 Feb;71(2):67-87.		
<b>キーワード</b>		
ビール、腹部肥満、全身性肥満		
<b>要旨</b>		
<b>目的:</b> ビール摂取と腹部及び全身性肥満との関連性のエビデンスを評価するため、系統的レビューを行った。		
<b>方法:</b> 系統的探索により、35の観察研究と12の実験研究が同定された。		
<b>結果:</b> 腹部肥満では、多くの観察研究においてビール摂取と腹囲及びウエストヒップ比の間に男性で正の関連または関連がない傾向を示した一方、女性では一致した結果は示されなかった。いくつかの研究では500ml/日以上 of ビール摂取が腹部肥満と正の関連があるかもしれないことを示した。全身性肥満では、ほとんどの観察研究においてビール摂取と体重の間に女性で負の関連または関連がない、男性で正の関連または関連がないことを示した。6件の男性を対象とした実験研究では、アルコールビールは低アルコールビールと比較して、アルコールビールの摂取(21~126日)が体重増加(0.73kg, $P < 0.0001$ )と関連したが、4件の実験研究はこの関連を支持しなかった。一般的に、実験研究は質の低いデータを含んでいる。		
<b>結論:</b> 中程度(500ml/日未満)のビール摂取が全身性及び腹部肥満と関連するかどうか、科学的エビデンスを提供するには利用できるデータが不十分である。しかしながら、高容量の摂取は腹部肥満と正の関連があるだろう。		